

県内中小企業の経営状況

緩やかな持ち直しの動きが続いている。
先行きには不透明感がみられる。

経営者の景況感DIは3期連続で改善した。業種別にみると、非製造業は引き続き改善したが、製造業は3期ぶりに悪化した。先行きについて製造業、非製造業とも「良い方向に向かう」とみる企業が増加するとともに「悪い方向に向かう」とみる企業は減少している。

売上げDI、資金繰りDI、採算DIは三つとも3期ぶりに悪化した。来期は改善する見通し。

設備投資の実施率も3期ぶりに減少し、来期は当期と同様の実施率となる見通し。

注1) 本文中の各DI値については、例えば「増加した」企業割合と「減少した」企業割合を四捨五入して表記しているため、±0.1の範囲で差異が生じることがある。

注2) 「前期」：平成23年10～12月期、「当期」：平成24年1～3月期、「来期」：平成24年4～6月期

1 経営者の景況感と今後の景気見通し

景況感DIは 69.5 となり、3期連続で改善。前年同期比1.9ポイント上昇。

業種別にみると、非製造業は引き続き改善したが、製造業は3期ぶりに悪化した。先行きについては製造業、非製造業とも「良い方向に向かう」とみる企業が増加するとともに「悪い方向に向かう」とした企業は減少している。

<景況感DIの推移>

	当 期	前 期	前年同期
全 体	69.5	71.4	71.4
製 造 業	67.0	65.3	62.2
非製造業	71.2	75.2	77.5

<「良い方向に向かう」と回答した割合>

	当 期	前 期
全 体	5.4%	3.4%
製 造 業	7.2%	4.1%
非製造業	4.2%	3.0%

<「悪い方向に向かう」と回答した割合>

	当 期	前 期
全 体	35.8%	42.9%
製 造 業	31.3%	36.3%
非製造業	38.8%	47.1%

2 売上げについて

売上げDIは 28.4 となり、3期ぶりに悪化。来期は改善する見通し。

業種別にみると、製造業、非製造業ともに3期ぶりに悪化した。来期については、製造業、非製造業ともに当期の売上げDIを上回る見通しである。

<売上げDIの推移>

	当 期	前 期	前年同期	来期見通し
全 体	28.4	14.6	26.6	13.4
製 造 業	24.0	12.9	15.8	11.1
非製造業	31.4	15.7	33.9	15.0

3 資金繰りについて

資金繰りDIは 28.9 となり、3期ぶりに悪化。来期は改善する見通し。

業種別にみると、製造業、非製造業ともに3期ぶりに悪化した。来期については、製造業、非製造業ともに当期の資金繰りDIを上回る見通しである。

<資金繰りDIの推移>

	当 期	前 期	前年同期	来期見通し
全 体	28.9	22.6	27.7	20.0
製 造 業	26.5	19.6	22.7	16.2
非製造業	30.6	24.6	31.2	22.6

4 採算について

採算D Iは 39.4となり、3期ぶりに悪化。来期は改善する見通し。

業種別にみると、製造業、非製造業ともに3期ぶりに悪化した。

来期については、製造業、非製造業ともに当期の採算D Iを上回る見通しである。

<採算D Iの推移>

	当 期	前 期	前年同期	来期見通し
全 体	39.4	32.4	38.2	25.6
製 造 業	36.4	28.9	29.2	22.7
非製造業	41.4	34.6	44.3	27.6

5 設備投資について

実施率は16.8%となり、3期ぶりに減少。来期も当期と同様の実施率となる見通し。

業種別にみると、製造業、非製造業ともに減少した。

来期については、製造業、非製造業ともに当期とほぼ同じ実施率となる見通しである。

<設備投資の実施率>

	当 期	前 期	前年同期	来期見通し
全 体	16.8%	20.7%	17.3%	16.8%
製 造 業	21.7%	25.6%	22.3%	21.2%
非製造業	13.6%	17.6%	14.0%	13.9%

6 ヒアリング調査の概況（詳しくは13頁以降をご覧ください）

景 況 感

製 造 業：持ち直しの動きに陰りがみられる

小 売 業：厳しい状況がみられるものの、一部に持ち直しの動きがみられる

情報サービス業：持ち直しの動きがみられる

建 設 業：厳しい状況が続いている

企 業 の 声

「円高や電気料金値上げなど次から次へと続き企業が疲れている」（一般機械）

「ヨーロッパなどの景気が停滞しているため、その影響を受けている」（電気機械）

「技術力のあるところとそうでない企業で業績が分かれている」（プラスチック製品）

「震災やタイの洪水被害で客先が止めていた発注が再開しだした」（情報サービス）

「これ以上の経費圧縮は難しく、増収増益の形にしていく必要がある」（百貨店）

「惣菜の売上が好調な店舗が多く、震災以来、『自宅で美味しいものを食べたい』という傾向が続いている」（スーパー）

「バラツキはあるが、受注はある。後は電気料金次第であり、楽観できない」（鋳鉄铸件）

特別調査（詳しくは20頁以降をご覧ください）

(1) 新規学卒者の採用予定について

(2) 電気料金の値上げについて